

コースの主な見どころ

1 小幡城跡



大永2(1522)年岩倉織田氏の家臣岡田重篤が築城したと言われている。城は天文5(1536)年徳川家康の祖父清康が尾張に軍を進めた時に在城、その後天正12(1584)年小牧・長久手の戦いの時は家康が城を修復し一時在城したがのち廃城となった。

2 生玉稻荷神社



社伝によると西暦1200年頃の創建とされている。天正12(1584)年徳川家康が小牧・長久手の戦いのため、長久手へ向かう際、家臣が稲荷山より竹を伐り旗竿を献上したところ、家康は大いに喜んだと言われている。名古屋地区最大級の稲荷神社として多くの人々から崇拝されている。

3 牛牧遺跡



昭和32(1957)年に発見。当時の守山市教育委員会、その後愛知県埋蔵文化財センターによって発掘調査された。多くの縄文時代晩期の土器・石器のほか、甕棺墓、竪穴住居跡、弥生時代から戦国時代の物などが発見され、長い期間にわたり人々が住みついていたと思われる。

4 川村南城跡



築城時期は1500年代半ばと推定され、築城者は水野右京進で、織田信長の家臣であったといわれる。その後、城主は5代続き水野氏の菩提寺である長命寺の本堂裏手には石碑が現存する。位置については、長命寺から150m南東の丘陵上(旧字城山)にあった。

5 長命寺



もと川嶋神社付近にあり、天正12(1584)年小牧・長久手の戦いで焼失。本尊の薬師如来は救出されて、元禄13(1700)年に長母寺末寺、医王山・長命寺と号し開山した。境内には、蓬萊七福神の寿老尊を祀る寿老殿、観音堂、濃尾震災慰霊碑、長命水など。

6 白沢溪谷



市内唯一の溪谷。平成8(1996)年白沢川護岸整備に人工的なロックガーデンの滝と市内唯一の吊り橋長さ25m、高さ9mが架けられた。耐用年数により、平成28(2016)年ほぼえみ橋が再架された。平成九年度建設省都市景観大賞、名古屋市都市景観賞を受賞。桜の名所である。

7 川村北城跡



川村には、かつて南北に城があり区別するため川村北城というが、二つの城に直接的関係はない。築城時期は明応元(1492)年頃で、築城者は津田武永。その後城主は岡田時常、牧長義と続いた。位置は、ゆとりーとライン「白沢溪谷駅」北西の丘陵上にあったと推定される。

8 川東山1～4号墳



川東山古墳群9基のうちこの地点では、4基の円墳が至近距離に所在する。それぞれ直径10～35m、高さ0.5～1mで、1・2号墳では横穴式石室が確認され、6世紀後半～7世紀前半の築造と推定される。出土遺物は、土師器、須恵器、埴輪、鉄製武器、馬具、装身具等である。



守山探検隊では新規隊員を募集しています。まちあるきイベントの企画や運営など一緒に楽しみませんか?
詳しくは守山区役所地域力推進室
(TEL:052-796-4524)までお問い合わせください。

